



## 第2660地区 インターアクトクラブ新入生歓迎会

インターアクト委員会  
委員長

### 西 秀樹

(八尾RC)

6月7日(日)、お天気も新入生を歓迎するような晴天に恵まれた日曜日に、朝10時より八尾市に在る、金光八尾中学校・高等学校にて、インターアクトクラブ新入生歓迎会が開催されました。

同校に、大阪桐蔭・浪速・清風・相愛・大阪国際大和田・四天王寺・金光八尾と、新しく次年度より参加される高槻高校(高槻市)の各校における中学校・高等学校のインターアクター125名、顧問の先生21名、ロータリアン35名、ローターアクター2名、事務局1名の合計184名が集まり新入生歓迎会が開催されました。

[開会式]

開会式では、鮫島武信委員長から新入生皆さんへ熱い歓迎のお言葉とインターアクトクラブの活動内容等についての説明がありました。また、泉ガバナーの代理にいられた井川ガバナー補佐からは、青少年の健全な育成にインターアクトクラブの果たす役割の重要性と期待を込めた激励のお言葉が皆さんへ贈られました。

そして、在校生による各校クラブ紹介と、新入生の一人一人が舞台上に上がり自己紹介をしました。

[記念講演]

講師：竹内信士氏(金光八尾高校卒、第7期生・インターアクトクラブOB)による講演が行われました。

2011年3月11日の東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)が起きたとき、ボランティア精神の強い竹内氏は、すぐさま現地駆け付け、あまりにもひどい光景に驚き足元もすくむような思いをされたそうです。(死者15,891人、行方不明2,579人、負傷者6,152人、合計24,622人)現場に立った時、何を手伝えいいのか?どのような声掛けをすればいいのか?大変、苦慮されたそうです。数日、数回と訪れる中、家を失った方々は、行政が用意した場所で寝食がとれたり、

医療に掛かる事が出来たりするのですが、そうではない、家が幸いにも潰れずに残った方や、被害の少なかった山側にお住いの方達には行政の援助もほとんど無く、このような人たちに日々の食べ物や情報を提供し、多くの人々に“生きる力を与えてくれたと”大変感謝されたそうです。

[グループワーク]

“ウエストジャパンアウトドアスクール”から7人のインストラクターの方達に来て頂きました。リーダーシップとメンバーシップの精神を養うプログラムで生徒達に学んで頂きました。

ねらいとして、7チームに分かれ色々なゲーム(ルール)を通じて、生徒同士のコミュニケーションを活発にし、「考える」「認める」「行動する」ことで「結果を出せる良いチーム」を体験して頂きます。チームに対して自分は何ができたのか?なぜ結果を出せたのか?等を「個人」「チーム」でふりかえり、チームが成長した要因を見出していきます。知・徳・体とプログラムを通じて、「生きる力」を促進するものです。

生徒達のひたむきな姿と達成感に満ちた笑顔がとても印象的でした。これからの生活に生かして頂けるよう願います。

最後になりましたが、素晴らしい新入生歓迎会を企画、運営して頂きました金光八尾中学・高等学校のインターアクトクラブの皆様、顧問の先生方、八尾ロータリークラブの皆様、そしてガバナー事務所の皆様には心より感謝申し上げます。

今後ともインターアクトクラブの活動に、ご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

